

Vol.171 「教師になって良かったと思うこと」

学校の先生に感謝を示す日として、「教師の日」があります。これは、普段お世話になっている先生たちに感謝の気持ちを伝える文化で、日本でも浸透してきています。では、先生が教師になって良かったと思うことは、どのようなことでしょうか？今回は、全国の小中高校の教員300人を対象に、心に残っている学校生活や、教師という仕事へのやりがいの有無、教師になって良かったと思うときについて調査しました。

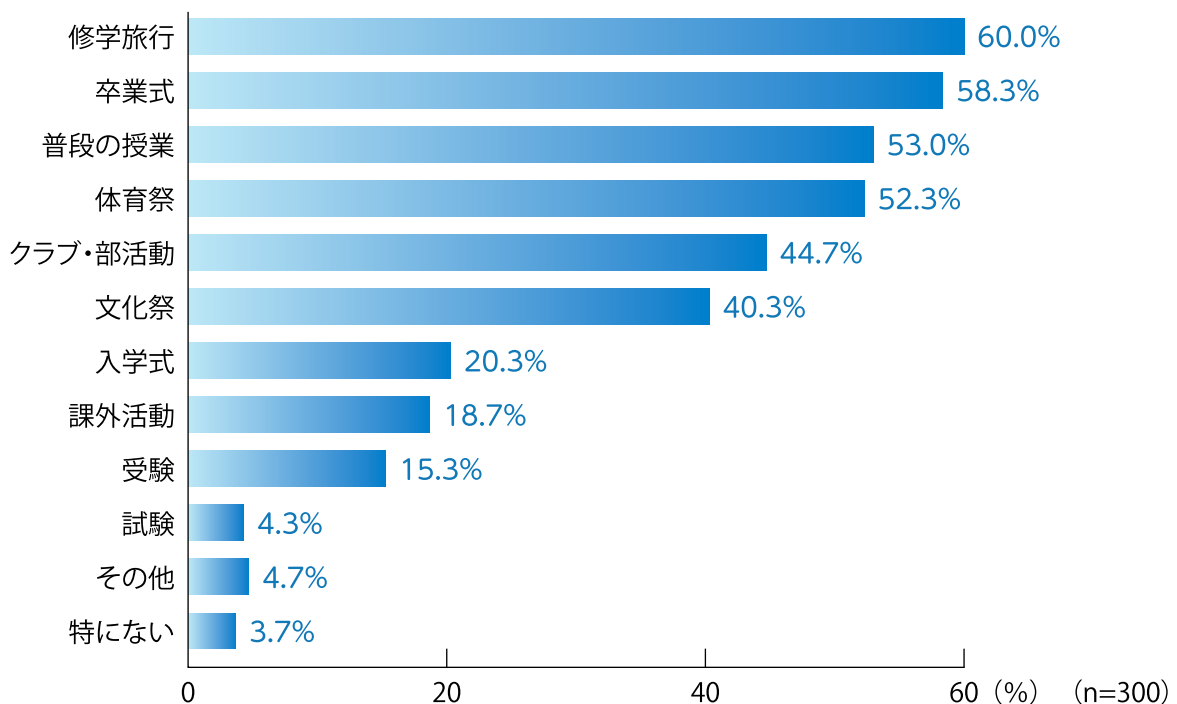


調査概要

調査対象：全国の小中高校の教員300人
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2020年2月

Q 1. 心に残っている学校生活

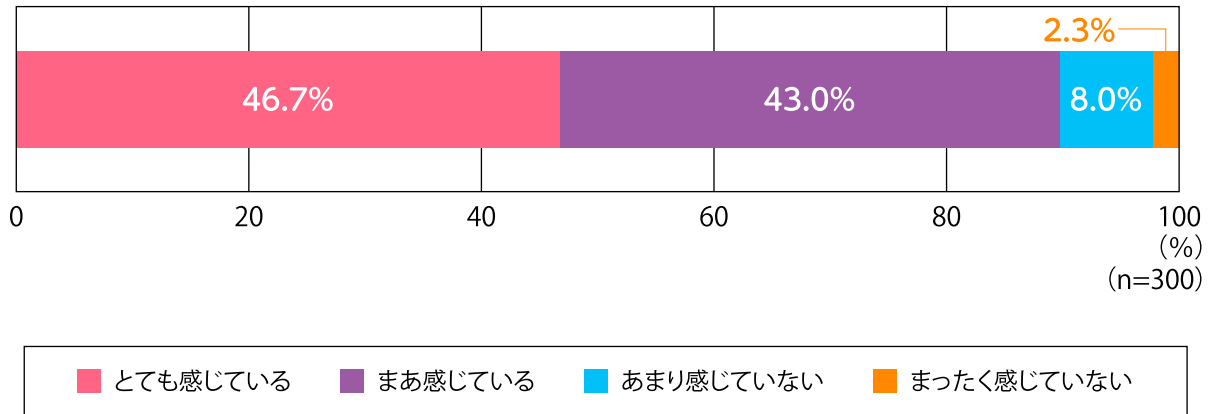
児童・生徒との思い出で先生の心に残っている学校生活は、「修学旅行」(60.0%)が最も多く、次に「卒業式」(58.3%)、「普通の授業」(53.0%)、「体育祭」(52.3%)、「クラブ・部活動」(44.7%)、「文化祭」(40.3%)という結果になりました。



【図1】 児童・生徒との思い出で、心に残っている学校生活は何ですか。(複数回答)

Q 2. 教師という仕事へのやりがいの有無

先生自身が、教師という仕事へのやりがいを感じているかについては、「とても感じている」(46.7%)、「まあ感じている」(43.0%)をあわせると、約9割の先生がやりがいを感じていると回答しています。



【図2】 現在の教師という仕事に、やりがいを感じていますか。(単数回答)

Q 3. 教師になって良かったと思うとき

小中高校の先生が教師になって良かったと思うときは、「生徒が嬉しそうにしている姿を見たとき」、「毎日子どもたちとの関わり」、「生徒の成長を感じたとき」、「子どもや保護者から感謝されたとき」、「ありがとうと言われたとき」など、子どもとの関りがあげられました。

- 生徒が嬉しそうにしている姿を見たとき。
- 生徒の笑顔。
- 毎日子どもたちとの関わり。
- 授業がうまくいったとき。
- 生徒と一緒に成長できる。
- 生徒の成長を感じたとき。
- 卒業していく教え子たちを見送るとき。
- 卒業生が成長した姿を見せに来てくれたとき。
- 卒業後、立派になって働いている姿を見たとき。
- 子どもたちから先生に出逢えてよかったといわれたとき。
- 子どもや保護者から感謝されたとき。
- 感謝の言葉をもらったとき。
- ありがとうと言われたとき。

(n=300)

【図3】 教師になって良かったと思うときは、どのようなときですか。(自由回答)

まとめ

1994年にUNESCO(国際連合教育科学文化機関)が10月5日を「教師の日」に制定しています。先生たちに感謝の気持ちを伝えるこの文化は、「教師の日」に合わせたイベントも開催されるなど、先生という職業を社会全体で応援する動きがみられます。

今回、全国の小中高校の教員を対象に、児童・生徒との思い出で心に残っている学校生活を尋ねたところ、「修学旅行」、「卒業式」、「体育祭」、「クラブ・部活動」、「文化祭」など様々な学校行事と共に「普通の授業」(53.0%)という回答も半数以上ありました。また、教師という仕事へのやりがいを感じているかは、「とても感じている」(46.7%)、「まあ感じている」(43.0%)をあわせると、約9割の先生がやりがいを感じていると回答しています。その理由は、「生徒が嬉しそうにしている姿を見たとき」、「毎日の子どもたちとの関わり」、「生徒の成長を感じたとき」、「子どもや保護者から感謝されたとき」、「ありがとうと言われたとき」など、子どもたちとのコミュニケーションや感謝の気持ちを伝えられたときに醸成されるようです。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、通常の学校生活が送れない状態が続いていますが、学校が再開し、子どもたちの元気な声が学校に溢れることを願っています。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

カンコーホームルーム

検索

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>